

稲美町教育委員会議事録

- 1 開催日時 令和2年8月6日(木) 開会 15時00分
閉会 16時30分
- 2 開催場所 稲美町役場 303会議室

3 会議に付した事項

日程第1 諸報告

- (1) 行事・経過報告について
- (2) 8月・9月の行事予定について

日程第2 議案

議案第8号 令和3年度使用義務教育諸学校教科用図書採択について

日程第3 その他

- (1) 総務福祉文教常任委員会の報告について(別冊)

4 出席委員

教 育 長	松 尾 哲 子
委 員	西 川 征 志 郎
委 員	後 藤 哲 夫
委 員	北 口 隆 男
委 員	本 多 澄 子

5 出席職員

教育政策部長	沼 田 弘
生涯学習担当部長兼文化の森課長	山 本 勝 也
教育課長	木 村 明 宏
学校教育担当課長	野 邊 久 美
管理担当課長	井 上 智 久

人権教育課長 丸山 一也
生涯学習課長 島 邦彦

6 開 会

教育長

委員の皆さまにおかれましては、お忙しい中、ご出席たまり、誠にありがとうございます。

本日の会議は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 14 条第 3 項の規定により定足数に達しております。よって、会議が成立していますので、ここに開会いたします。

本日の議事日程は、お手元に配付いたしております。

次に、会議の傍聴を希望する者が 7 名ありますが、許可することとしてよろしいか。お諮りします。

各委員

異議ありません。

教育長

ありがとうございます。それでは、稲美町教育委員会会議規則第 19 条の規定に基づき、許可することといたします。傍聴人は入室してください。

次は、議事録の承認ですが、7 月、8 月分をまとめて 9 月に承認いただきます。

次は、議事録署名委員の指名です。議事録署名委員は、稲美町教育委員会会議規則第 16 条第 2 項の規程により、教育長から指名いたします。北口隆男委員にお願いいたします。

続きまして、私の方から、日程第 1、諸報告を行います。先の定例教育委員会からあまり日が経っていないことと、行事も少なかったということで、今回は口頭で説明させていただきます。まず、7 月 30 日に決算審査がありました。8 月 3 日に第 1 回稲美町教育振興基本計画の点検評価委員会を行いました。学校、園関係への意見が出揃いました。稲美町の教育基本計画について引き続きしっかりと点検していただきたいと思っています。次に、5 日に総務福祉文教常任委員会が開催されました。このことについては、このあと日程第 3 で事務局から詳しく報告させていただきます。私の方からは、以上です。

続きまして、各課より報告をお願いします。

教育課報告 (報告内容省略)

人権教育課報告 (報告内容省略)

生涯学習課報告（報告内容省略）

文化の森課報告（報告内容省略）

教育長

各課の報告について、何かご意見があればお願いします。

西川委員

1 つだけ質問があります。6 月に学校が再開されて 2 ヶ月がたちましたが、当初、保護者の方から新型コロナウイルスの感染を怖れて、学校を休ませたいという相談があった場合は欠席扱いではなく、出席扱いとするという話がありましたが、実際にそういった事例はありましたか。

木村教育課長

5 月の末から分散登校が始まりましたが、その 1 週間程度の間には、そういった事例はありました。ただし、そこは出席扱いとする期間ではありません。もし、6 月以降もご不安でしたら出席停止扱いとしますというご案内は、学校からしています。6 月以降は、新型コロナウイルスの感染を怖れて学校を欠席するという児童生徒は、今のところ出ていません。登校していても、不安を持ちながら学校生活を送っている児童生徒もいるとは思いますが、養護教諭や学級担任がそれぞれ話を聞いてケアをしており、休んでしまうということはありません。

北口委員

幼稚園職員（正規職員）の採用試験の応募者数は、どれくらいでしたか。支障がなければ教えていただけますか。

沼田教育政策部長

10 名で試験を行いました。

北口委員

ありがとうございます。

教育長

他に、何かご意見はありませんか。

ご意見がないようですので、次は、日程第 2、議案第 8 号「令和 3 年度使用義務教育諸学校教科用図書の採択について」を議題といたします。事務局から提案理由の説明を求め

ます。

この会に先立ちまして、稲美町教科用図書選定委員会 会長より令和2年6月1日付け稲教委第201号で諮問しました令和3年度使用公立中学校教科書の採択について、答申書の提出を受けました。選定委員会の皆さんには、大変な作業をお引き受けいただいたこと、感謝申し上げます。

なお、本日の教育委員会では、稲美町教科用図書選定委員会規約の第5章 議事録及び資料の公表の第13条に「選定委員会の会議の議事録及び前条第2項の資料（「調査員は、見本の送付があった全ての教科用図書の調査研究を行い、種目ごとに調査研究の結果を取りまとめた資料を作成し、代表者が各市町の選定委員会に報告する。」）については、8月31日以降公表する。」としていますので、稲美町教科用図書選定委員会の教科用図書調査に関する報告書についての説明や質疑応答等は、事務局が代わって行うこととします。

では、事務局から教科用図書調査に関する報告書作成にあたっての協議概要等を説明してください。

木村教育課長

最初に、加印地区共同調査委員会の調査研究の観点と今回採択に付した教科書説明をします。教科用図書採択に関する報告書の1ページから6ページをご覧ください。

（調査研究の観点 及び 採択に付す教科書を説明） *別紙

続いて、これらの観点に基づいて調査された加印地区共同調査委員会による調査報告書を参考に協議し、採択案として稲美町教科用図書選定委員会による教科用図書調査に関する報告書を作成しました。

協議の概要は、以下のとおりです。

まず、学習指導要領との関連は、いずれの教科書も学習指導要領に示された各教科及び道徳科の目標達成に結びつく内容でした。「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた工夫や多面的な見方ができるための工夫は、それぞれの教科書に特徴が見られました。

内容は、各教科の目標や特性に応じて、「知識及び技能」の習得と「思考力・判断力・表現力等」の育成のバランスどうかや生徒が主体的に学習を進めやすいかなどが協議の中心とされています。また、ICT機器を活用するための配慮が示されているかについても話し合われています。

構成・分量については、系統的、発展的に構成されているかどうかや、道徳科では教科書以外の兵庫版道徳教育副読本、防災教育副読本「明日に生きる」等の活用状況を鑑み、内容の量を検討しました。

表記・表現は、教科書の大きさ、色使いや構成等の見やすさについて、ユニバーサルデザインの観点から検討しました。

教育長

協議の概要等について、ご質問はありませんか。

西川委員

まず、教科用図書の採択にあたり、全体を通した質問として、稲美町の生徒にとって最もふさわしい教科用図書を選定していただくという点とともに、教員が教えやすく生徒が学びやすいという点でも考慮いただいているかを確認しておきたいと思います。どうか。

教育長

実際に授業を行う教員の視点、これまでの実践、また、授業を受ける生徒や保護者の視点から、「生徒にとって学びやすく、教員にとって指導しやすい」教科書はどれがふさわしいかという内容が協議の中心となっています。

では、稲美町教科用図書選定委員会による教科用図書調査に関する報告書について事務局から説明してください。

今回、採択に付す教科書は中学校全種目ですので、協議の中心となった教科書に絞って協議の概要を説明してください。

まずは、国語・書写に関する報告をお願いします

木村教育課長

国語・書写の協議の概要を説明します。教科用図書採択に関する報告書の 8 ページから 11 ページをご覧ください。

国語の 4 社、書写の 4 社は、いずれも学習指導要領に示されている各教科の目標達成に結び付く内容となっていました。

国語は、物語文や説明文、俳句や短歌、古文などのバランスや量から、三省堂と光村図書の 2 社が協議の中心となりました。いずれも「読む・書く・聞く・話す」の各領域がバランスよく配置され、系統的に学習できるよう工夫されています。

三省堂は、「言葉に学び、言葉で生きる」をテーマに掲げ、①主体的に ②対話をとおして ③深く学ぶ よう構成し、巻末の「読み方を学ぼう」で、教材を読む時の着眼点などを明記し、生徒自らが考えを深めるよう工夫しています。JPOP や SNS など現代的な課題も取り上げ、実生活に生かすような教材もあります。

光村図書は、「学習の見通しをもとう」「思考の地図」に学習内容が整理されており、学びの視覚化が図られています。巻末には「季節の言葉」を示し、日本独特の四季を表す言葉を知り、豊かさや美しさを味わったり、読書に関しては教材に関係する本を紹介したりするなど、生徒の興味を高める学びを広げ、深める工夫が見られます。

書写は、文字を正しく整えて書くことに向けての目標の示し方や、他の教科の学習や日常生活に生かすことのできる内容が充実しているかどうかといった視点から、東京書籍と

教育出版の2社が協議の中心となりました。

東京書籍は、基本の「点画」の書き方を振りかえるところで、「とん」「ぴたっ」「すう」といった擬音語によって運筆のポイントを示しています。「書写活用ブック」があり、封筒の書き方や原稿用紙の使い方、入学願書など実生活に役に立つ内容がまとめられています。

教育出版は、筆の運びが視覚的にわかりやすく、文字のバランスなど重要なことを意識して確かめながら練習することができます。「書式の教室」には、帯・ポップ作りなど他教科の学習活動や年賀状、手紙の書き方、入学願書など日常生活の中で活かせる工夫があります。

以上が、国語・書写の協議概要の説明となります。

教育長

では、国語を協議します。委員の皆さま、ご意見やご質問がありましたらお願いします。

西川委員

国語は、各教科の学習にも大きく影響するので、「読む」「書く」「話す・聞く」の各領域を系統的に指導しやすいというのは、大切なポイントだと思います。選定委員会で協議の中心となった三省堂と光村図書の2社がよく工夫されているのではないかと思います。

後藤委員

各教科の学習の基礎的な力としても大切ですが、日常生活と関係した教材で、普段使うことばを豊かにしてほしいですね。

本多委員

光村図書の「季節のしおり」は、日本の四季を感じさせ、豊かな情操を育む指導ができると思いました。それと、中学生ですので、古文や短歌・俳句といった日本の伝統的な言語文化も、しっかりと味わってほしいです。どちらかという、三省堂より光村図書の方が古典の教材が充実しているのではないかなと思いました。

西川委員

そうですね。そうした教材を繰り返し味わうことで、日本語のよさに触れて、語彙を豊かにし、言語感覚を養ってほしいなと思います。

北口委員

学習のつながりや系統立てた学習といった観点では、三省堂も光村図書も見通しを持つ

て学習しやすい構成になっていると思いました。どちらかという、光村図書の方が学年のはじめに、「学習の見通しをもとう」「思考の地図」でわかりやすく示しているのではないかと感じました。

教育長

そうですね。書写は、いかがですか。

本多委員

文字を正しく整えて書くことはもちろんですけど、普段の生活に生かしてほしいですね。中学生になると活動の場所も広がるので、そんな時にいねいな文字が書けるとずいぶん接してくれる方の印象も変わると思います。教育出版の「書式の教室」はとても役立つんじゃないでしょうか。

北口委員

入学願書などは、生徒もきれいに書きたいでしょうからね。本の帯やポップ作りなどは、それぞれの目的にあった書き方があって、生徒も楽しいんじゃないですか。

西川委員

事務局にお聞きしますが、国語の教科書と出版社が異なることになっても、教育現場に不都合はありませんか。

教育長

その点は、選定委員会でも話し合いましたが、同じ出版社にすることのメリットは特にはないということでした。

後藤委員

文字を正しく整えて書くことに向けての目標の示し方は、それぞれに工夫があって東京書籍と教育出版ともにわかりやすかったと思います。ただ、教育出版の方が画像や写真がきれいで、見やすく感じました。

教育長

他にご意見はありませんか。ないようでしたら、国語は光村図書、書写は教育出版にしたいと思います。

各委員

異議ありません。

教育長

次に、地理・歴史・公民・地図の報告をお願いします。

教育課長

報告書の12ページから20ページをご覧ください。

地理の4社、歴史の6社、公民の6社、地図の2社は、いずれも学習指導要領に示されている各教科の目標達成に結び付く内容となっていました。

地理は、「思考力・判断力・表現力」を育成するための学習の流れの示し方や資料や写真などのわかりやすさといった観点から、東京書籍と帝国書院の2社が協議の中心となりました。

東京書籍は、各章の初めの「導入の活動」は、生徒の興味を高める内容になっており、終わりの「まとめの活動」へつなげることで、「思考力・判断力・表現力」を高めることができるよう工夫されています。資料や写真も新しく、豊富です。

帝国書院は、本文見開き2ページで、最初に「学習課題」が示され、最後に「確認しよう」「説明しよう」でまとめられ、学習方法を定着させやすく、主体的・対話的な学びへと発展できるよう工夫しています。資料や写真も豊富で充実しています。

歴史は、「思考力・判断力・表現力」を育成するための学習の流れの示し方や歴史的な事象の関連を多面的・多角的に考察することができるような内容となっているかといった観点から、東京書籍と帝国書院の2社が協議の中心となりました。

東京書籍は、各章のまとめの活動で様々な方法が示され、学びを深める工夫があり、思考力・判断力・表現力を高めることができます。

帝国書院は、各章の振り返りにおいて、ステップを踏むことで「思考力・判断力・表現力」が高まるように構成されています。

いずれも資料が豊富で、資料の活用を促したり、生徒の興味関心を高めたりする構成になっています。

公民は、「主体的・対話的で深い学び」につながる学習の流れが構想しやすいかといった観点や資料を活用したり調べたりして主体的に学習に取り組みやすいかといった観点から東京書籍と帝国書院の2社が協議の中心となりました。

東京書籍は、目標とゴール、発展内容の指示が明確で、「みんなでチャレンジ」を活用した班活動などを設定し、主体的・対話的な学びを意識した構成です。資料の写真も新しく、QRコードのリンク先の内容は、調べ学習などに活用しやすいよう工夫されています。

帝国書院は、思考力・判断力・表現力を養うよう、最初に「学習課題」を示し、最後に「確認しよう」「説明しよう」でまとめるよう構成となっています。「アクティブ公民」や「技能をみがく」を使い、対話的な学びを行うことができます。

地図は、東京書籍と帝国書院の2社で、学習資料としての使いやすさ、見やすさを中心に協議しています。

東京書籍は、歴史と関連した写真資料が多数掲載されていたり、地理の教科書とリンクされていたりして使いやすく、内容も充実しています。

帝国書院は、資料が豊富でわかりやすく、「地図活用」や「学習課題」が示され、主体的な学びが期待できます。

以上が、地理・歴史・公民・地図に関する協議の概要です。

教育長

では、地理から協議します。委員の皆さま、ご意見やご質問がありましたらお願いします。

北口委員

どちらも、グラフや図や写真がきれいで見やすいですね。地理に興味をわくと思います。

後藤委員

帝国書院の「未来に向けて」のコラムや「声」のコーナーも、生徒は興味を持ちそうに思います。

本多委員

地理や歴史というと何となく「暗記」のイメージがあるのですが、帝国書院は本文見開き 2 ページが「学習課題」と「確認しよう」「説明しよう」でまとめられ、話し合い活動にも役立つように感じました。

西川委員

重要なことを覚えるのも大切ですが、友だちと話し合っ自分の考えを伝える力やいろいろなものの見方や考え方を身につけてほしいですね。

本多委員

どちらも見ていて楽しい教科書だと思います。生徒が資料で調べたり、学習した内容を資料で確認したりすることを考えたら、帝国書院の方がはっきりしていて見やすいのではないかと思います。

教育長

地理に関係するので、ここで地図を協議します。いかがですか。

北口委員

帝国書院が見やすく、使いやすいと思います。細かいところになりますが、東京書籍

は気温などのフォントが見にくいように思います。

西川委員

帝国書院は、地図にも「学習課題」が示されていて、生徒が主体的に学習できると思います。

本多委員

私も、帝国書院の方がいいと思います。

教育長

地理と地図は、帝国書院が多いようですが、歴史はいかがですか。

後藤委員

東京書籍は「みんなでチャレンジ」があって、対話的な学習ができるような工夫がされていますね。帝国書院にも「確認しよう。説明しよう」があって、言語活動を通して対話的な学習ができると思います。

西川委員

帝国書院には、資料に発問をつけるなど生徒が資料を活用できるような仕掛けもありますね。資料や写真はどちらも十分な量だと思いますが、帝国書院の方が、比較的新しい資料が多いのではないのでしょうか。

北口委員

そうですね。人物紹介もあって、単なる暗記にとどまらず生徒が興味を持つと思います。難しい語句には「解説」もあって、わかりやすいと思います。

後藤委員

東京書籍は、中学 1、2 年で学習する内容がやや多くて、3 年生への積み残しが多くなるのではないかと聞いたことが心配です。

本多委員

帝国書院の「多面的・多角的に考えてみよう」、「技能を磨く」は発展的であり、より深く歴史を学ぶことができると思います。

教育長

歴史も、帝国書院が多いようですが、公民はいかがですか。

後藤委員

帝国書院は、「アクティブ公民」や「技能をみがく」を使って、対話的な学習が展開できますね。本文見開き 2 ページに「学習課題」と「確認しよう」「説明しよう」がまとめられていて、「公民プラス」などのコラムも充実していると感じました。

北口委員

帝国書院は、「阪神・淡路大震災」や兵庫県の内容を大きく取り扱っていますね。

西川委員

東京書籍は、目標とゴール、発展内容の指示がはっきりしていて、「みんなでチャレンジ」は班活動に適していると感じました。生徒が、主体的・対話的な学びを進められるのではないかと思います。

後藤委員

そうですね。帝国書院はコラムも充実しているのですが、東京書籍は、「チェック」や「トライ」は、基礎・基本的な内容の確認とチャレンジしてみようとする課題が示されていて、学習内容を確認するだけでなく、自分の考えを持つように工夫されていますね。「学習内容を振り返ろう」とあわせて、どちらかと言えば、東京書籍の方がていねいに基本を押さえるような構成になっていると思います。

本多委員

東京書籍は、グラフや図がきれいで見やすく、QR コードも使ってみたのですが、調べ学習にとっても便利だと思いました。

教育長

他にご意見はありませんか。ないようですので、地理と地図と歴史は帝国書院、公民は東京書籍にしたいと思いますが、いかがでしょう。

各委員

異議ありません。

教育長

次に、数学の報告をお願いします。

木村教育課長

報告書の 21 ページから 24 ページをご覧ください。

数学の 7 社は、いずれも学習指導要領に示されている各教科の目標達成に結び付く内容となっていました。

数学を生活や学習に生かそうとする態度を育む工夫や「主体的・対話的で深い学び」に発展させやすいかどうかといった観点から啓林館と数研出版の 2 社が協議の中心となりました。

啓林館は、「説明しよう」「話し合おう」「まとめよう」などの表記があり、自分の考えを説明したり友だちの考えを聞いたりしながら、「主体的・対話的で深い学び」へと発展させやすいよう工夫されています。

数研出版は、「探究ノート」により、生徒が対話をしながら、数学的な活動を通して、より、「主体的・対話的で深い学び」を促すよう工夫しています。

いずれも、QR コードでリンクされたデジタルコンテンツが豊富です。

以上が、数学に関する協議の概要です。

教育長

では、委員の皆さま、ご意見やご質問がありましたらお願いします。

北口委員

啓林館は、練習問題→学びを確かめよう→学びを身につけようといったパターンで、数研出版は、「確認問題→章の問題A→章の問題B→次の章の前になどといったパターンで、段階を踏んだ系統的、発展的な問題の構成となっていると感じました。

本多委員

この 2 社は、どちらも練習問題が豊富で、問題のパターンも工夫されているなど思いました。生徒の学習を支援するキャラクターや適度なヒントもあってわかりやすく、楽しく学習できると思います。

西川委員

2 社とも、「主体的・対話的で深い学び」へとつながりやすい工夫もされていたように思いますが、数研出版の別冊ノートはどうなのでしょうね。私は、一体となっているほうが使いやすいと思いましたが。

教育長

選定委員会では、どのような意見がありましたか。

木村教育課長

選定委員会でも同じ意見で、別冊ノートは使いにくいのではないかということでした。

後藤委員

啓林館の巻末にある「学びをいかそう」は、日常の事象や社会の事象から問題を見だし数学的に解決するなど、数学を自分の身の回りの生活に生かしていく内容となっていて、数学を生活や学習に生かそうとする態度を育むことにつながると思いました。

北口委員

「数学ライブラリー」も、学んだ内容と関連していて、生徒は興味を持つと思います。

教育長

他にご意見はありませんか。ないようですので、数学は啓林館でよろしいですか。

各委員

異議ありません。

教育長

続いて、理科の報告をお願いします。

木村教育課長

報告書の 25 ページから 27 ページをご覧ください。

理科の 5 社は、いずれも学習指導要領に示されている各教科の目標達成に結び付く内容となっていました。

見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈するなどの科学的に探究する学習が重視されているかどうかや観察、実験、野外観察が安全で適切な活動になるように、事故防止に十分留意した内容となっているかといった観点から東京書籍と啓林館の 2 社が協議の中心となりました。

東京書籍は、「問題発見」「構想」等、探究の過程をマークと脚注のフローチャートで示していて、探究的な展開を基本として構成し、生徒が「理科の見方・考え方」を働かせ、見通しをもって観察・実験ができるように配慮しています。また、観察・実験では手順をステップに分け図や写真を用いて示し、観察・実験の前及び巻末資料に「基礎操作」を設け、基礎操作や観察・実験の手順をていねいに記載しています。

啓林館は、観察・実験では、「結果」と「考察」で結果・考察の視点を示し、巻末の「探 Q シート」で探究の進め方や方法を示すなど、思考力や表現力を育成する場面を示しています。また、観察・実験では手順をステップに分け、図や写真を用いて示しており、ポイントとなる箇所に「観察・実験のスキル」や QR コードのコンテンツ、動画を設けています。

以上が、理科の協議の概要です。

教育長

では、委員の皆さま、ご意見やご質問がありましたらお願いします。

後藤委員

啓林館は、「計画」「予想」「分類」「比較」「作図」などのマークがあって、観察や実験を生徒が主体的に進めやすそうです。ポイントに「観察・実験のスキル」やQRコードのコンテンツや動画もあって、とてもわかりやすいと思います。

西川委員

啓林館の「探Q実習」や「探Q実験」、「表現してみよう」は、自分の言葉でまとめさせる構成になっているので、言語活動の充実も期待できると思います。

本多委員

東京書籍の考察は、「ここをおさえよう」、「考えが異なったら、考えを言葉にして議論しよう」などは、キャラクターが会話する形式で、言語能力の育成をねらいとしているように思います。ただ、単元によっては、会話するキャラクターの登場が少なくなるところがあるように思いました。

後藤委員

東京書籍の「つながる科学」や「from Japan 世界につながる科学」日常生活や社会との関連や科学技術を紹介していて、科学を学ぶ意義や有用性がよく伝わると思います。ただ、理科を学ぶよさは伝わるのですが、学習項目とのつながりがわかりづらい部分があるのがちょっと残念です。啓林館の「科学コラム」や「科学史」には、科学と部活、職業、食生活、自然との関連や、科学史に関する話題が掲載されていて、科学を学ぶ意義や有用性がよく伝わると思います。

北口委員

啓林館は文章と挿絵、写真などのバランスもよくて、章の終わりの「学習のまとめ」も見やすい構成だと感じました。

教育長

他にご意見はありませんか。ないようですので、理科は啓林館でよろしいですか。

各委員

異議ありません。

教育長

続いて、音楽一般と器楽、美術の報告をお願いします。

木村教育課長

報告書の28ページから31ページをご覧ください。

音楽の一般と器楽の2社、美術の3社は、いずれも学習指導要領に示されている各教科の目標達成に結び付く内容となっていました。

音楽一般と器楽は、いずれも音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽に親しむ態度を養うよう工夫されているかどうかや音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるような内容となっているかを中心に協議しました。

教育出版は、リズム学習を取り入れた教材があり、生徒が興味や関心を持って表現を楽しみ、工夫することができるといった特徴があります。

教育芸術は、生徒にとって親しみやすい曲が教材に採用されており、音楽を愛好する心情や豊かな感性を育む工夫がされています。

美術は、発想や構想したことを基に、材料や用具などを生かして工夫し、創造的に表すことができるような内容となっているかといった観点から開隆堂と日本文教出版の2社が協議の中心となりました。

開隆堂は、ポスターや役立つデザイン、伝えるデザインなど生活の中で美術を意識できる内容が充実しており、参考作品も豊富で生徒が表現活動に活かしやすいといった特徴があります。

日本文教出版は、「学びの目標」、「作者の言葉」、「造形的な視点」など、言葉で伝える工夫が多く見られ、生徒の発達段階によって系統的、発展的に構成されているといった特徴があります。

以上が、音楽一般と器楽、美術の協議の概要です。

教育長

まず、音楽一般と器楽について、ご意見やご質問がありましたらお願いします。

本多委員

教育芸術の方が、全体的に、使用されている写真がきれいだと思います。赤とんぼのページなどはちょっと受ける印象に違いが出てくるのではないかと感じました。生徒は、曲の情景をイメージすると思いますので、歌詞と結びついた写真は大切だと思います。

北口委員

教育出版には、「くいしんぼうのラップ」のようなリズム学習を取り入れた教材がありますが、教育芸術も、リズムゲームを取り入れて、生徒が興味・関心を持って取り組める

よう工夫されていますね。教育芸術には、「指揮をする」「プレゼンをする」といった、これまでになかったような活動があって、生徒が音楽活動の楽しさを味わうことができると思います。

教育長

音楽一般は、教育芸術という感じですが、器楽はいかがですか。

後藤委員

器楽も、教育芸術の方がよいのではないかと思います。全般的に楽譜が見やすく、練習するときに効果的だと思います。それと、打楽器の演奏方法にも、説明といっしょに写真があって、視覚的にわかりやすく工夫されていると感じました。

本多委員

楽譜もそうですが、教育芸術の方が指づかいのポイントの説明などが簡潔でわかりやすく、生徒が理解しやすいと思います。

西川委員

教育芸術の郷土の祭りや伝統芸能の写真は、音楽の歴史や生活や音楽が社会で果たしてきた役割がよく理解できると思います。

教育長

他にご意見はありませんか。ないようですので、音楽一般と器楽はどちらも教育芸術でよろしいですか。

各委員

異議ありません。

教育長

続いて、美術について、ご意見やご質問がありましたらお願いします。

後藤委員

日本文教出版の「作者の言葉」は生徒の言葉なので、作品制作の意図が伝わりやすく、創作意欲も高まると思います。2・3年上の6ページのように、生徒の主体的な活動が反映されているところもあり、生徒の多様な感性を活かして、「主体的・対話的で深い学び」へ向かわせる工夫が見られます。

北口委員

そうですね。生徒の作品や活動の写真が多く使われていて、親しみが持てますし、アイデアスケッチなども参考になりますね。

本多委員

題材名がわかりやすく、特徴的です。小見出しや文章もよく工夫されていて、生徒の意欲を高めると思います。

西川委員

3冊で構成されているのは、他社と比べて全体にボリュームがありますが、選定委員会ではどのような意見がありましたか。

教育課長

確かにボリュームはありますが、学年で分けることができ使いやすいということでした。

後藤委員

日本文教出版は、「表現・鑑賞」と「鑑賞」をはっきり示していて、指導しやすいし、「学びを支える資料」は、表現と関係した技法や、安全に配慮した記載もあって、効果的に使えると思います。

教育長

他にご意見はありませんか。ないようですので、美術は日本文教出版でよろしいですか。

各委員

異議ありません。

教育長

続いて、保健体育と技術・家庭の報告をお願いします。

木村教育課長

報告書の32ページから37ページをご覧ください。

保健体育の4社、技術・家庭のそれぞれ3社は、いずれも学習指導要領に示されている各教科の目標達成に結び付く内容となっていました。

保健体育は、生徒が見通しを持って学習に取り組むことができる構成かどうかや、個人生活における健康課題を解決することができるよう効果的な資料が示されているかどうか

といった観点から東京書籍と大修館の2社が協議の中心となりました。

東京書籍は、「見つける→学習課題→課題の解決→広げる」と学習の流れが明確になっており、生徒が見通しをもって学習に取り組むことができ、主体的・対話的な学びとなるように工夫されています。

大修館は、各項目のおわりに「学習のまとめ」が設けられており、自ら考え・判断し・表現する力の定着を図ることができるよう工夫されています。

いずれの教科書も、WEB サイト参考資料として、QR コードにより、深い学びができるよう工夫されています。

技術・家庭の技術分野は、実習や観察・実験、調査等、実践的・体験的な活動が適切に行えるような配慮がされているかや生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして、課題を設定し、解決策を構想、表現し、実践を評価改善することができる内容となっているかといった観点から東京書籍と教育図書との2社が協議の中心となりました。

東京書籍は、作業の手順、部品加工、組み立てなど、1つの動画にまとめられており、製作や基礎学習を通して学んだことを、技術の見方・考え方に沿って振り返る手立てが用意されています。また、生活の中の問題点を発見し、課題を設定するよう工夫されています。

教育図書は、木材、金属、プラスチックに分けて加工を詳しく説明する動画があり、違った材料で、同じ製品をつくっており、簡単に比較できるよう配慮している。また、技術のプラス面とマイナス面を考える場面も設定されています。

技術・家庭の家庭分野は、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、これからの生活を展望して実践することができる内容となっているかや調理や製作などの実習や観察・実験、調査等、実践的・体験的な活動が適切に行えるような配慮がされているかといった観点から東京書籍と教育図書との2社が協議の中心となりました。

東京書籍は、干し方図や手縫いの基礎（1本取り、2本取りまで）、アイロンかけ（横向き）、ミシンの操作説明等の丁寧で、わかりやすいといった特徴があります。実習の衛生と安全についても、科学的な根拠に基づいた実験写真が多く掲載されています。

教育図書は、調べてみよう、やってみよう、考えてみよう、話し合ってみよう等、各所に主体的・対話的なワークがあり、キャッシュレス決済や若者の消費者トラブル例など現代的な問題を取り扱っています。

以上が、保健体育と技術・家庭の協議の概要です。

教育長

まず、保健体育について、ご意見やご質問がありましたらお願いします。

西川委員

東京書籍の「心肺蘇生の方法」や「熱中症の予防と手当」は、イラスト・写真や図解入りで見やすいですね。熱中症の応急手当の手順も、フローチャートで示していて、理解しやすいと思います。

本多委員

大修館も、学年や題ごとに色合いを変えたり、全体的に写真やイラスト、図表など多く活用したり、見やすいですね。

北口委員

2社とも見開き2ページに1時間の学習内容がまとまっているのですが、東京書籍の「見つける→学習課題→課題の解決→広げる」といった流れがはっきりしているので、生徒が見通しを持って学習できると思います。

後藤委員

どちらもWEBサイト参考資料として、QRコードにより、深い学びができるよう工夫されているのですが、東京書籍は独自に編集して充実した内容だと思います。例えば、「リラクゼーションの方法」の動画は、教科書に沿った内容になっており、わかりやすかったです。大修館は、専門的な内容で情報量も多いのですが、授業で使用する場合は、精選する必要がありますね。

教育長

他にご意見はありませんか。ないようですので、保健体育は東京書籍でよろしいですか。

各委員

異議ありません。

教育長

続いて、技術・家庭について、ご意見やご質問がありましたらお願いします。

本多委員

部品加工における動画はとても効果的で、東京書籍は作業の手順、部品加工、組み立てなど、1つの動画にまとめられており、授業に活用しやすいと思います。

北口委員

東京書籍は、社会的ニーズや、安全性、環境への負荷、経済性の観点から技術の現状を見直すことができるよう構成していて、例えば、スマート農業を取り上げて、これまでの

技術を伝承しながら新しい技術を考えていくよう工夫していると思いました。

西川委員

教育図書は、最新技術を使った新しい農業技術を取り上げていますが、食糧の自給率、農業の未来、物流、各地の特産品などの紹介がもう少しほしいですね。

教育長

家庭分野はいかがですか。

後藤委員

東京書籍が、展開からまとめ（自己評価）まで、ほぼ見開きで完結していて、使いやすいのではないかと思います。

本多委員

どちらの教科書も、ウイルスや細菌の説明が具体的で、実習では、今まで以上に衛生面の配慮が必要となるので大切ですね。

北口委員

東京書籍の「プロに聞く！」は、生徒の興味・関心を高めるのに効果的な内容だと思いました。デジタルコンテンツの「D マーク」もわかりやすですし、防災・減災手帳が別冊で用意されているのも、いろんな場面で活用できる可能性があると思います。

後藤委員

東京書籍の教材の配列が、他社とかなり違いますが、選定委員会ではどうでしたか。

木村教育課長

A 家族・家庭生活、B 衣食住の生活、C 消費生活・環境となるのですが、教材を入れ代えて指導することも可能です。稲美町の現在の家庭分野のカリキュラムには、東京書籍の教材の配列が適しているということです。

教育長

他にご意見はありませんか。ないようですので、技術分野、家庭分野ともに東京書籍でよろしいですか。

各委員

異議ありません。

教育長

続いて、外国語の報告をお願いします。

木村教育課長

報告書の 38 ページから 40 ページをご覧ください。

外国語の 6 社は、いずれも学習指導要領に示されている各教科の目標達成に結び付く内容となっていました。

外国語は、外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けることができる内容となっているかや小学校外国語科との接続を重視し、学びの連続性を意識した内容となっているかといった観点から東京書籍と開隆堂の 2 社が協議の中心となりました。

東京書籍は、文章量が多く語彙も増えており、「読む」力をつけるのに適しています。また、小学校 5・6 年の教科書に採択しており、全体構成や紙面デザインに関連性があり、生徒に安心感を与えられると思われます。

開隆堂は、文法事項の次にリーディングを配置しており、わかりやすい構成です。小学校で学んだことを振り返るページも多く、小中連携に配慮しています。

以上が、外国語の協議の概要です。

教育長

では、委員の皆さま、ご意見やご質問がありましたらお願いします。

西川委員

東京書籍は、絶滅危惧種、英語落語、食文化など多岐にわたった内容ですね。生徒の興味・関心を持って取り組むことができると思います。だから、文章量も語彙も増えていますが、生徒はしっかりと読み込んで外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解できるのではないのでしょうか。

北口委員

開隆堂の各プログラムは、①新しい表現を学ぶ ②題材内容について考える ③本文内容を再現 ④自己表現 となっていて、バランスがいいですね。自国の文化や、歴史的な出来事と他国との関係をリンクさせた話題が多く、生徒が興味・関心をもちやすい内容となっているのですが、内容が盛りだくさんで、いろんな活動を取り入れることが難しいと思います。

後藤委員

東京書籍は、Key Sentence（キーセンテンス）で基本文を確認し、Practice（プラクテ

イス)の練習へとつながっているので、指導しやすいし、Practice(プラクティス)の練習内容は本文と関連しているので、生徒は理解しやすいと思います。

本多委員

開隆堂は、レイアウトはシンプルでいいのですが、本文以外の文字はちょっと小さくて読みづらい印象を受けました。キーセンテンスの説明もちょっとわかりにくいですね。

後藤委員

どちらも、小学校外国語科との接続を配慮した構成になっていますが、東京書籍は、小学校の教科書と中学校 1 年生の教科書が同じ字体で、なじみやすいでしょうね。小学校との連携を踏まえた 4 月当初の指導 (be 動詞・一般動詞・can) には効果的だと思います。

北口委員

東京書籍は、写真や絵がバランスよく配置されているなど、レイアウトに工夫があって見やすいと思いました。

教育長

他にご意見はありませんか。ないようですので、外国語は東京書籍でよろしいですか。

各委員

異議ありません。

教育長

続いて、特別の教科 道徳の報告をお願いします。

木村教育課長

報告書の 41 ページから 44 ページをご覧ください。

特別の教科 道徳の 7 社は、いずれも学習指導要領に示されている各教科の目標達成に結び付く内容となっていました。

特別の教科 道徳は、自他の生命の尊重、規範意識、他者への思いやりが重点的に取り上げられているかや主題がとらえやすく、自己の生き方について考えを深める問題解決的な学習を進める手立てが示されているかといった観点から日本文教出版とあかつきの 2 社が協議の中心となりました。

日本文教出版は、冒頭に道徳科の 4 視点別のマークと主題名、主な登場人物を示し、内容の把握を促して、「この教材で何を考えるのか」が分かる教材の構成になっている、道徳科以外での学習や他教科との関連を意識した「プラットホーム」や、教材の内容理解を

補助するコラム「参考」が設定されているといった特徴があります。

あかつきは、読み物教材が豊富で、主人公の心の変容の場面から、道徳的価値に迫るように工夫されています。「生命尊重」と「いじめ防止・人権尊重」を最重要課題に位置づけ、「自主、自立、自由と責任」、「思いやり、感謝」、「生命の尊さ」、「よりよく生きる喜び」と関連づけて設定されています。

以上が、特別の教科 道徳の協議の概要です。

教育長

では、委員の皆さま、ご意見やご質問がありましたらお願いします。

西川委員

あかつきは、主人公の心の変容の場面から、道徳的価値に迫るというのが大きな特徴ですね。学習の流れとして、教材の末尾の「考える・話し合う」の「学習の手がかり」には、学習のめあてや発問例が示されていますし、「考えを広げる・深める」には、学びを深めるため、多面的・多角的に考える問いや問題解決的な学習を進める手立ても示されていて、授業を組み立てる手がかりになると思います。

後藤委員

あかつきは、「生命尊重」と「いじめ防止・人権尊重」を最重要課題に位置づけていて、生徒に考えさせる内容としてはとてもいいと思います。生命尊重や家族愛に関する教材だけでなく、これまでも多くの資料集や副教材で取り上げられてきた教材や情報モラルやキャリア、防災、福祉等の現代的な課題の教材も、バランスよく取り上げられていますね。

北口委員

日本文教出版は、教材やコラムをユニット化した「いじめと向き合う」と「よりよい社会と私たち」が複数設置され、生徒が主体的に考え議論する機会を増やし、学びを深めることが期待できると思います。ただ、他教科との関連を意識した「プラットホーム」や、教材の内容理解を補助するコラム「参考」が設定されていますが、1時間の授業で消化しきれんかどうか心配はありますね。

本多委員

どちらにも、別冊の「道徳ノート」があって、生徒の成長の様子を継続的に把握して、指導や評価に生かすことができると思います。

西川委員

現在、小学校はあかつき、中学校は日本文教出版の教科書を採用していますが、ノート

の扱いについて、選定委員会では何か意見がありましたか。

木村教育課長

小学校、中学校とも評価に活用していますが、どちらかといえばあかつきの方が教員の工夫できる余地があるのではないかという意見でした。

西川委員

どちらの教科書もよく工夫されていますが、「生命尊重」と「いじめ防止・人権尊重」を最重要課題に位置づけているあかつきがよいのではないかと思います。

教育長

他にご意見はありませんか。ないようですので、特別の教科 道徳はあかつきでよろしいですか。

各委員

異議ありません。

教育長

これで、中学校全教科・種目の審議が終わりましたので、議案第8号「令和3年度使用義務教育諸学校教科用図書採択について」の結果を確認します。

国語【光村図書】、書写【教育出版】、地理【帝国書院】、歴史【帝国書院】、公民【東京書籍】、地図【帝国書院】、数学【啓林館】、理科【啓林館】、音楽一般【教育芸術】、器楽【教育芸術】、美術【日本文教出版】、保健体育【東京書籍】、技術・家庭（技術分野）【東京書籍】、技術・家庭（家庭分野）【東京書籍】、外国語【東京書籍】、特別の教科 道徳【あかつき】、以上で、よろしいでしょうか。

各委員

異議ありません。

教育長

ご異議なしと認めます。よって本案は、審議のとおりとなりました。

次は、日程第3、その他(1)「総務福祉文教常任委員会の報告について(別冊)」を事務局から説明願います。

木村教育課長 (報告内容省略)

畠生涯学習担当課長 (報告内容省略)

井上管理担当課長 (報告内容省略)

教育長

このことについて、何かご意見はございませんか。

ご意見がないようですので、以上で、本日の議事はすべて終了しました。

なお、次回定例教育委員会は、9月30日(水)15:00からですので、よろしくお願いいたします。

それでは、これで本日の会議を閉会といたします。本日は大変お疲れ様でした。ありがとうございました。